

第2回あきる野市環境審議会 議事録

□日 時：令和4年5月16日（月）13：55～14：15

□場 所：あきる野市役所5階 庁議室

□出席者：（環境審議会委員）江添委員、森委員、藤井委員、小澤委員、松村委員
甲野委員、浦野知委員（計7人）

（事務局）環境政策課

□配布物：＜当日配布＞ 第2回あきる野市環境審議会 次第
第二次あきる野市環境基本計画改訂版（案）

1 開 会

事 務 局： 定刻より早いですが、皆様お揃いのため、ただ今から第2回あきる野市環境審議会を開催する。

本日はお忙しい中、環境審議会にご出席を賜り、感謝申し上げます。

あきる野市環境審議会については、規定により、「委員の過半数の出席」が条件とされているが、本日の出席は7名であるため、会議は成立している。

また、小山正弘委員と浦野太嗣委員は本日欠席の連絡をいただいている。

なお、小山委員については、前回の会議の際は、町内会自治会連合会長代行ということだったが、4月28日の総会で正式に町内会自治会連合会長とされている。

2 あいさつ

江 添 会 長： （江添会長からあいさつ）

3 議 題

江 添 会 長： 答申事項 第二次あきる野市環境基本計画改訂版（案）について事務局から説明をお願いします。

事 務 局： 第二次あきる野市環境基本計画改訂版（案）をご覧ください。

内容については、前回の環境審議会において、協議していただいた。その後、4月28日までにご意見があれば連絡をお願いしていたが、意見はなかった。

そのため、先月の環境審議会の場でいただいた意見について修正を加えた箇所について、説明する。

修正を加えた箇所は全て、朱書きと黄色のマーカーにより示している。

20ページの「東京都資源循環・廃棄物処理計画改定」については、委員の意見により修正したものである。

21ページの「生きもの会議」の加筆については、委員から指摘のあった部分であり、委員が作成した修正文のまま加筆している。

22ページのイベント関連の記述については、委員からのコロナ禍におけるイベントの開催についての意見を受けて加筆したものである。

33ページの外来種の対策に関しては、議員よりアメリカザリガニとアカミミガメについての意見による修正である。前回の審議会では、「国及び東京都との動向を踏まえ」の一文を加えるという説明をしたが、先日の参議院の本会議におい

て、外来生物法の法改正があり、それに伴う修正を追加したものである。

34 ページの表中の部分についても同様に、外来生物法改正による修正を加えた。

41 ページの表中に「海ごみゼロウィーク」の取組を追加しているが、これについても議員からの意見による修正である。

55 ページの生きもの会議の記述については、21 ページの生きもの会議に関する記述の修正に伴う文言の修正である。

以上が前回の環境審議会以降に修正を行った内容である。皆様からの意見をいただき、答申をさせていただきたい。よろしく審議をお願いする。

江 添 会 長： 意見がある委員は、挙手をお願いしたい。

委 員： 14 ページの「2) 改正地球温暖化対策推進法」8 行目について、「②地域の地域の再生可能エネルギー～」となっており、「地域の」が 2 つある。誤りではないか。

事 務 局： 誤りであるため、修正する。

委 員： 41 ページの「海ごみゼロウィークの取組」について、今月に一斉清掃が実施されると思うが、どのような取組を行うのか、具体的な考えがあれば伺いたい。

事 務 局： この項目は議会において質問があったため追加したものであり、日本財団が中心となり、海洋プラスチックごみ問題等も含め、海に流れるごみの大半は川から来るものであるため、海がある場所に限らず日本各所で海ごみを減らす取組を行う運動である。

例として、日本財団に「海ごみゼロウィークの取組」をする申込みを行うと、ごみ袋が提供され、それを地域の活動で使うことで、海ごみに関する周知が行える。

こういった活動について、積極的に取り組んでいくため、今回の計画に追加したところである。

江 添 会 長： 他に意見が無いようなので、一部修正もあるが、この案を環境審議会の答申とさせていただきます。よろしいか。

【「異議なし」と声あり】

江 添 会 長： それでは、私と事務局の方で、答申をさせていただく。

これで審議を終了する。

事 務 局： 会長から話のあった通り、後日書面を準備し、答申を行いたいと考えている。

3 そ の 他

事 務 局： 今後のスケジュールについて、説明する。

明日、江添会長に答申をしていただいた後、6月に議会への報告を行い、第二次あきる野市環境基本計画改訂版の策定となる。

4 閉 会